

日韓定期戦 2019 <男子>

戦況用紙

日時 2019年6月19日 (火)

場所 アリーナ立川立飛

日本代表 ○ 35 $\left(\begin{matrix} 12 - 12 \\ 23 - 15 \end{matrix} \right)$ 27 ● 韓国代表

戦況	前半	立ち上がりから東江の連続得点でリズムを掴んだ日本は、守っても積極的なディフェンスで韓国の攻撃の芽を潰しながら、組織的な攻撃で得点を重ねていく。一方、韓国も少ないチャンスを確実にモノにしていく。スピーディーな展開の中、互いに譲らず、12-12のタイスコアで前半を終了する。
	後半	後半に入ると、日本はディフェンスシステムを変更、さらに早いディフェンスで韓国の攻撃を潰し、速攻につなげる。圧巻だったのは日本1点ビハインドの4分過ぎから、土井、吉野が決めて逆転に成功すると、韓国2度のチームタイムアウトをものともせず6連取、9分過ぎには20-15と5点のリードを奪う。焦りの出た韓国はシュートミスやパスカットに遭い、連続得点を奪えない。逆に余裕の出てきた日本は、大胆かつ慎重にシュートを決めて点差を詰めさせない。さらに徳田、東江の連打で試合を締めくくった日本が35-27で快勝した。

記入者

羽田 裕一